

平成27年度 島根県教育センター教育研究発表会のご案内

うらかな春から初夏の気配も感じるこの頃、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、当島根県教育センターでは、下記のとおり教育研究発表会を開催することにいたしました。多くの教職員の皆様にご参加いただき、これらの研究成果を教育実践の参考にしていただくとともに、私たちの研究等についてご意見とご感想を賜ることができれば幸いに存じます。
昨年度に引き続き、当センターの研究に加え、島根大学大学院教育学研究科現職教員1年短期履修コース修了生の成果発表もあります。今年度は、午前の研究発表において、発表者と参加者の皆様の双方向性をより高めるため、ポスターセッションによる発表形式も取り入れました。
講演は、文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター総括研究官 後藤顕一氏にお願いしました。ICTや理科教材の展示や、教科教育、特別支援教育に関するDVD視聴コーナーのほか、浜田教育センター研究発表の時間も設けており、例年以上に充実した内容となっております。
何かとご多用の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、多数ご来場くださいますようお願い申し上げます。

島根県教育センター 所長 春日 仁史

記

- 1 期 日 平成27年5月23日(土) 9:00~16:05
- 2 会 場 島根県教育センター 2階 講堂ほか (松江市内中原町255-1)
- 3 日 程
 - (1) 受付 8:40~9:00
 - (2) 開会式 9:00~9:10
 - (3) 成果発表・ポスターセッション 9:10~11:50

■成果発表 9:10~9:35 学習内容の構造分析に基づいた中学校理科授業の実践 ~学習内容のつながりを重点にして~ 島根大学大学院教育学研究科現職教員1年短期履修コース修了生 島根大学教育学部附属中学校教諭 園山 裕之		授業における「重点となる科学的知識」のつながりを重点に「中学校理科カリキュラム」を開発し、授業実践を行った。授業実践について「科学的知識のつながり」と「科学的知識」の2つの側面から分析し、検討を加えた。学習後に学習者が作成した「学習マップ」の分析から、学習者の「科学的知識のつながり」は概ね授業者の意図する学習内容の構造に基づいていた。
■ポスターセッション概要説明 9:35~9:45 ・発表者が、1人30秒程度で各発表の概要を説明します。すべての説明終了後、来場者の皆様には、関心を持ったテーマの会場に移動していただきます。		
■ポスターセッション 9:50~11:50 ・発表は、3回に分けて行います(説明20分、質疑応答10分)。【1回目】9:50~10:20 【2回目】10:35~11:05 【3回目】11:20~11:50 ・来場者の皆様には、以下の11テーマで発表を行う各ブースをおまわりいただきます。		
◆平成26年度スタッフ指導主事共同研究(2-1研修室)		
① 島根県のキャリア教育推進に関する一研究 浜田教育センター 研究・研修スタッフ	島根県内教職員と児童生徒の実態をもとに、本県におけるキャリア教育推進の在り方について探る。RPDCAサイクルを機能させるために、評価の在り方を中心に作成したリーフレットを活用した推進について提案する。	
② 授業改善に向けた教育センターの支援の在り方 企画・研修スタッフ	共同省察の現場の実態を、アンケート、現場の研究協議から把握したほか、「授業づくりの研修ハンドブック」の活用状況調査、さらに管理職の授業観察についての演習・協議を行い、問題意識を喚起した。	
③ 全国学力・学習状況調査を活用した授業の改善・充実方法 研究・情報スタッフ 研究セクション	しまね学力育成推進プランの中に示された「全国学力・学習状況調査を生かした授業改善PDCAサイクルの確立」をめざした。具体的な内容として「全国調査の問題分析」「学力育成リーダー研修の実施」等に取り組んだ。	
④ 「教育の情報化」推進のための取組 ~「情報モラル教育校内研修パック2015」を体験しよう!!~ 研究・情報スタッフ 情報セクション	「情報モラル教育校内研修パック2015」を制作した。校内研修等のためのプレゼンファイルや「教科別リンク集」、すぐに授業で使える情報モラル教材・指導資料等を収録している。ぜひ、体験してみてください。	
⑤ 「生徒指導・教育相談・学級集団づくり」 等に関する取組 「校内研修ベストセレクション」に向けて 教育相談スタッフ 相談セクション	校内研修の活性化のために、生徒指導、教育相談、学級集団づくりの視点から研修の内容や進め方の案を示した研修用シートを作成・提案する。校内研修の意義や課題についてのアンケートをもとに、具体例として作成したシートを示した。	
⑥ 高等学校における多様な支援ニーズに応じた教育の充実をめざして 教育相談スタッフ 特別支援教育セクション	高等学校における多様な支援ニーズに応じた教育の充実をめざして、全教職員で学び、実践する組織づくり「チーム支援」を推進していくための島根県教育センターの連携・協働のあり方を探った。	
◆平成26年度長期研修員・特別支援教育研修生(2-2研修室)		
① 特別支援学級における将来をみすえた授業づくりを考える 松江市立中央小学校 教諭 青山真由美	児童生徒の将来をみすえたときに大切にしたい力を文献や関係機関での聞き取りなどからまとめ、「くらす力」「はたらく力」「たのしみ力」の3つとした。そしてアンケート結果から、特別支援学級の授業づくりについて考えた。	
② 9歳の壁を乗り越える方を育てるために 松江市立古志原小学校 教諭 岡 鶴子	学力面でのつまづきを表す9歳の壁について、大人は子どもの感情に目を向けること、また目に見えることだけではなく、見えていない背景や子どもの心のつぶやきを理解していこうとすることが大切である。	
③ 論理的思考力・表現力を育てる中学校国語科学習指導の工夫 出雲市立平田中学校 教諭 玉木 陽子	論理的思考力・表現力を育てるため、「書くこと」領域の意見文作成過程における「論理・構成・表現の型」の提示と「書く過程における交流」を取り入れた学習指導を授業実践・検討した。	
④ 子どもたちが自己成長力を発揮する姿を求めて 出雲市立荘原小学校 教諭 有田 幸樹	子どもが自ら自分を伸ばしていこうとしたり、よりよく変えていこうとしたりする心の力を自己成長力ととらえ、自己成長力の発揮を促す周囲の人のかかわりについて考えた。	
⑤ 目と手の協応に視点をあてた子どもの理解 ~肢体不自由のある子どもを中心に~ 松江清心養護学校 教諭 野津ひろみ	多様な実態の子ども一人一人に応じた指導を行うためには、子どもの理解を高めることが必要である。実際に肢体不自由養護学校の子どもの観察を行ない、目と手の協応にかかわる子どもの様子に注目してその理解を考えた。	
(4) 研究発表 12:50~14:05		
① 授業改善に向けた教育センターの支援の在り方 ~主体的・効果的な授業改善に向けた自己省察・共同省察の在り方~ 企画・研修スタッフ 指導主事 高橋 隆子 仙田 浩志	共同省察の現場の実態を、アンケート、現場の研究協議から把握したほか、「授業づくりの研修ハンドブック」の活用状況調査、さらに管理職の授業観察についての演習・協議を行い、問題意識を喚起した。	
② 「教育の情報化」推進のための取組 ~情報モラル教育校内研修パックの作成を通して~ 企画・研修スタッフ 指導主事 大櫃 治	教育の情報化の推進を目指し、県内の高校の情報モラル教育に関するアンケート実施、情報モラル教育実践校や県外先進事例の聞き取り等を行うことによって、情報モラル教育推進のための手掛かりを探った。	
③ 島根県のキャリア教育推進に関する一研究 ~RPDCAサイクルですすめるキャリア教育~ 浜田教育センター 研究・研修スタッフ 指導主事 澄川 由紀	島根県内教職員と児童生徒の実態をもとに、本県におけるキャリア教育推進の在り方について探る。RPDCAサイクルを機能させるために、評価の在り方を中心に作成したリーフレットを活用した推進について提案する。	

(5) 講演 14:15~15:55 《詳細は、別紙をご覧ください》

演題 「これから求められる資質・能力の育成と学校教育」~主体的な学びと指導について~

講師 文部科学省 国立教育政策研究所教育課程研究センター総括研究官 後藤 顕一 氏

(6) 閉会式 15:55~16:05

4 展示等 9:10~16:30 (研究情報棟 講義室) 《詳細は、別紙をご覧ください》
島根県教育センター 2015 ICT体験・展示会 ~授業に役立つICT機器やデジタルコンテンツを体験してみませんか~

9:50~12:50 (研究情報棟 第1パソコン室)
教科教育、特別支援教育等に関するDVD視聴コーナー

9:50~16:30 (本館2階 研修準備室)
観察・実験を魅力的にする市販教材の紹介

(理科教材の業者による観察・実験教材の展示会です。実際に触ったり操作したりして、授業への活用や理科室等の整備計画の参考にしてください。)

5 その他

- (1) 参加申し込み、参加費等は必要ありません。(資料は当日準備いたします)
- (2) 昼食を注文することができます。(昼食受付8:40~9:50)
- (3) センター入口正面の第2駐車場もご利用いただけます。本館駐車場と併せて約150台が駐車可能です。大型車は第2駐車場にお入れください。
- (4) 本発表会の参加をもって、初任者研修の校外自主研修(「エ 研修会・研究会をととしての研修」)とすることが可能です。

問い合わせ先
 〒690-0873 松江市内中原町255-1 島根県教育センター 研究・情報スタッフ 本間 達也 TEL(0852)22-5873 E-mail: homma-tatsuya@edu.pref.shimane.jp